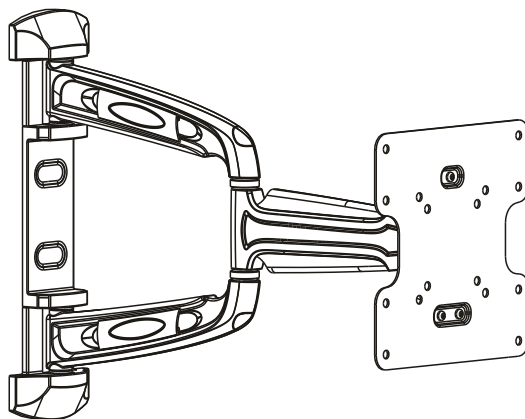


薄型テレビ壁掛け VESA 規格金具
TV セッターアドバンス

AR113 S

設置マニュアル



この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、DIY(日曜大工)が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいようお願い申し上げます。

基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

| 取り付け前提条件 | テレビ背面对応ネジ穴幅 | 対応テレビインチ | 最大テレビ重量 |
|---|--|---------------------|--------------|
| テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事 | テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 100×100mm、100×200mm、200×200mm である事 (VESA 規格対応) | 26-46 インチ | 20 kg |

設置にあたって：必ずお読みください



必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。

コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。火災などの原因になります。

設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。

以下の場所には設置をしないでください。

- ・振動があるような不安定な場所
- ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- ・湿度や温度の高い場所
- ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
- ・開閉するドアの側
- ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



設置にあると便利な道具

1) 間柱センサー

壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。

細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。

2) ドライバー

ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。

3) ドリルドライバー

電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。

4) ペン

壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。

5) メジャー

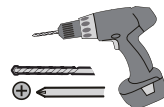
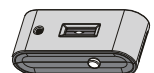
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用場合があります。

6) 柔らかい布

設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。

7) 軍手

手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれませんが。



さあ、設置・・・の前に

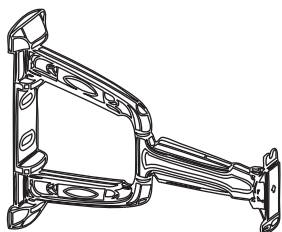
設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

| 取り付け前提条件 | テレビ背面对応ネジ穴幅 | 対応テレビインチ | 最大テレビ重量 |
|---|---|---------------------|--------------|
| テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事 | テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 100×100mm、100×200mm、200×200mm である事（VESA 規格対応） | 26-46 インチ | 20 kg |

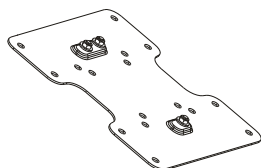
設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干短かめのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

付属部品リスト一覧

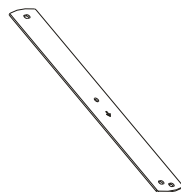
以下の部品が揃っているかをご確認ください。足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡下さい。



金具本体 - 1 台
A



テレビブラケット - 1 台
B



壁面台紙 - 1 枚
C



六角レンチ - 1 本
D



レンチ - 1 本
E

●ネジパッケージ M (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

テレビと金具の接合に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。

M-A



M4 × 14mm ボルト
4 本

M-B



M5 × 14mm ボルト
4 本

M-C



M6 × 14mm ボルト
4 本

M-D



M8 × 20mm ボルト
4 本

M-E



M5 × ワッシャー 4 個

M-F



M8 × ワッシャー 4 個

M-G



小スペーサー
8 個

●ネジパッケージ W (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

壁に金具を取り付ける際に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。

W-A



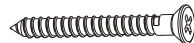
壁用ラグボルト
5.5 × 50mm - 6 本

W-B



壁用ワッシャー
6 本

W-C

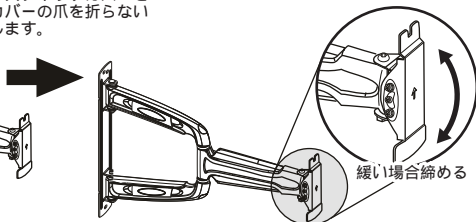
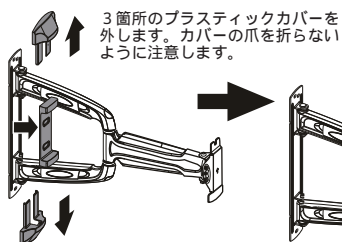


5.5 × 50mm - 1 本

※壁の状態によって、別のサイズや種類のネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご相談下さい。

ステップ 1

テレビ金具本体の分割

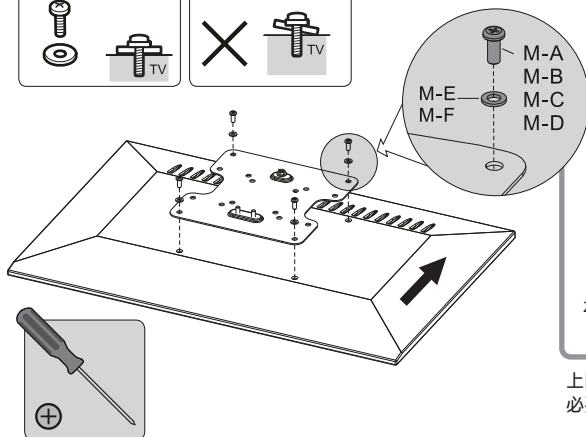
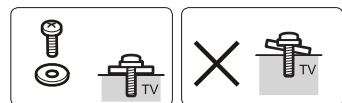
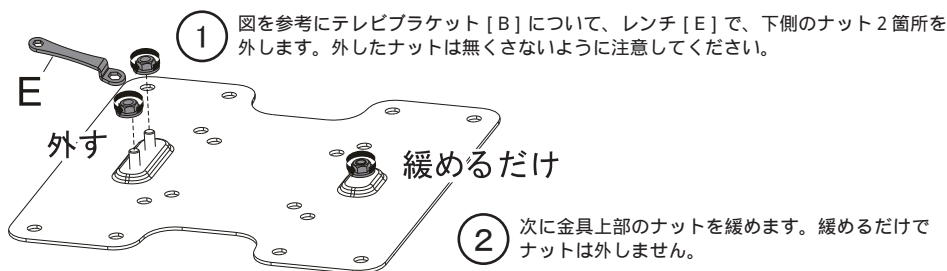


金具本体 [A] の壁面プレート部にあたる上下3箇所の黒いプラスチックカバーを外します。

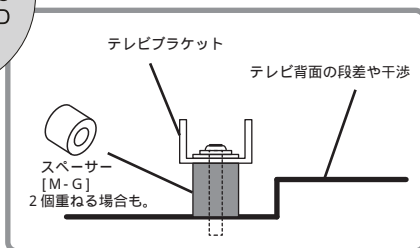
アームの先端が上下傾き角度の調節部となります。ステップ8を参考に、ある程度調節しておいてください。

ステップ 2

テレビブラケットの取り付け



テレビ背面に段差があった場合
あるいは、ネジが長く 余る場合



上図を参考に黒いスペーサーを使用します。適宜必要な個数のスペーサーを使用してください。

ステップ1で取り外したテレビブラケットをテレビに取付します。上記のイラストを見て金具の上下を間違えないようにしてください。ネジ穴を合わせて、ネジ [M-A ~ M-D] とワッシャー [M-E、M-F] で取付をします。テレビに合うネジを使用してください。



- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一、ネジが合わない場合、取付可能テレビ (VESA 規格対応) で無い事になります。お取付が出来ませんので設置作業を中止してください。

ステップ 3-A

壁の強度の確認と下穴の開削



テレビ壁掛けの最重要ステップです。

取り付けは、慎重・確実に作業するようにしてください。

壁面への取付不備による事故・損害については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

最重要ポイント

壁裏の間柱や強度の強い壁に設置を！！石膏ボードのみへのネジ打ちでは強度不足です！

●壁の構造について（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

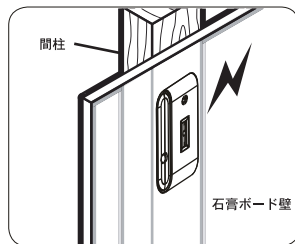
設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行ってください。石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分にご注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー（1500 円程度）やキリを更に細くした検知針が便利です。

●間柱を見つけたら

間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくは、センサーや検知針の説明書をご覧ください。

●コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は絶対に行わないようにしてください。



●一般的石膏ボード壁の場合
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。
キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央を見つけましょう。

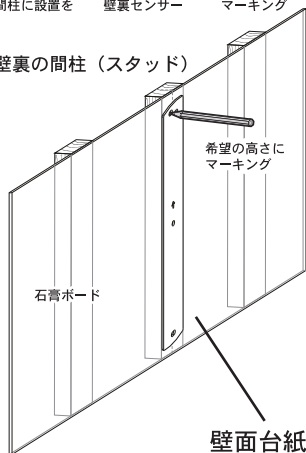


間柱に設置を

壁裏センサー

マーキング

壁裏の間柱（スタッド）



壁面台紙 [C]



目視&水平器等を参考
に水平に設置を！

1) 設置位置の確定

現在の主流である石膏ボード壁の場合、上記を参考に壁裏の間柱（スタッド）を見つけてください。

間柱は一般的に 40 ～ 45 センチ幅で設置されている事が多いようです。ご参考ください。

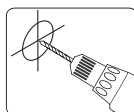
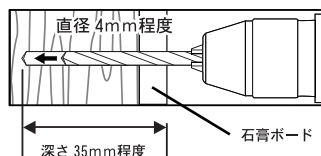
間柱が確定したら、壁面台紙 [C] を用いて、左図のようにネジ穴にマーキングをします。

2) ネジ打ち用下穴の開削

壁を横から見た断面図（下）を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。

壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。

下穴を開けておくと [ステップ 3-B] が楽になり、工事の失敗の可能性が下がります。



下穴は真っ直ぐに
開けるよう注意を

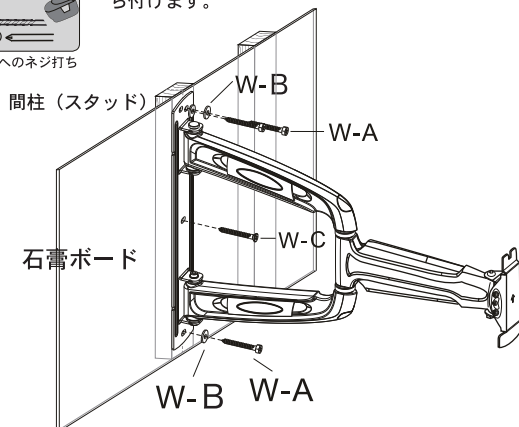
ステップ 3-B

壁面への金具の取り付け



壁へのネジ打ち

- 最も大切な部分です。下図を参考に壁用ラグボルト [W-A] を使用して金具を壁面にしっかりと打ち付けます。



- 上部に 2 本、中央に 1 本、下部に 1 本、合計 4 本を打ち込んで下さい。



ご注意

設置は自己責任です。必ず間柱などに設置を！！
ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら（ネジの空効き等）設置を中断し、専門業者に相談してください。

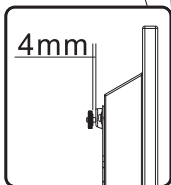
ステップ 4

テレビブラケットと金具本体の組み立て

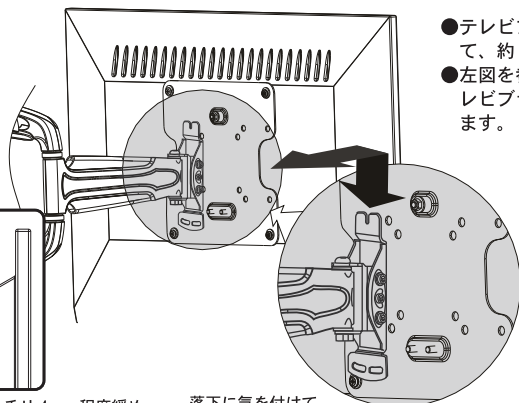


二人での作業を推奨

- テレビブラケット [B] の上側のナットについて、約 4mm 程度緩めておきます。
- 左図を参考にして、テレビ金具本体 [A] にテレビブラケットの緩めたナット部を引っ掛けます。



上部ナットをキッチリ 4mm 程度緩めておくと設置が楽になります。

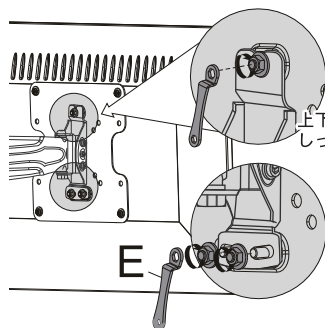


落下に気を付けて慎重に引っ掛けます。



ご注意

この段階では、テレビの落下の危険があります。十分注意して下さい。



- 下側にも、ステップ 2 で外した 2 箇所のナットをはめます。
- 上下の 3 箇所のナットをバランス良く最後まで締めます。バランス良く締める事で最後まで締める事が出来ます。

上下 3 箇所のナットをしっかりと締めます。



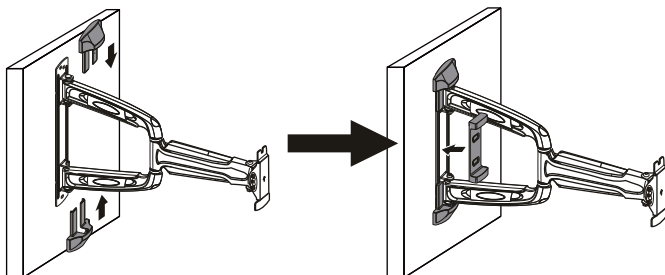
ご注意

最重要ポイント

それぞれのナットを締めるまでは、テレビの落下が無いよう細心の注意を払ってください。

ステップ5

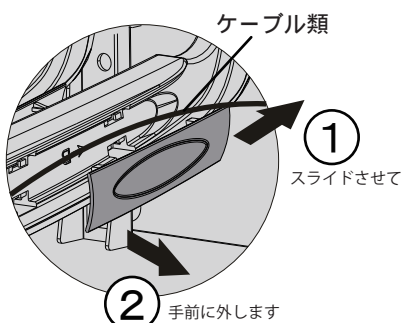
プラスチックカバーの取り付け



図を参考に上下 中央の順で、プラスチックカバーを取付けます。
メンテナンスを考慮して比較的外れやすくなっていますので、爪がはまるまで押し込んでください。

ステップ6

ケーブルホルダーの活用



当商品のポイントとして使いやすいケーブルホルダーがあります。
図を参考にHDMIケーブルなどを綺麗にまとめましょう。

- ・カバーを外す時
 - 1) プラスティックカバーを横にスライドさせます。
 - 2) 手前にカバーが取れます。
- ・カバーを付ける時
 - 1) 外す時と逆で、カバーを押し付けます。
 - 2) 外す時と逆にスライドさせてカバーがハマっている事を確認します。

ステップ7

画面水平角度の調節について

仮に設置後にテレビ画面が傾いていた(水平が取れていない)場合、微調整が出来ます。便利な機能です。
下図を参考に背面下部のナット2箇所を少し緩めます。左右に傾きの角度調節が可能になります。角度が決まったら、ネジをしっかりと締めます。



ご注意

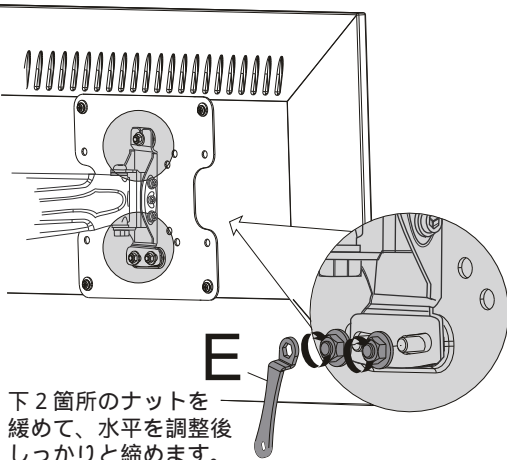
テレビの荷重バランスによって、ネジを締めても角度が戻ってしまうケースがまれにあります。

その場合、

- 1) ナット2箇所を強く再度締めてください。
- 2) それでも角度が決まらない場合、ナットの間にロックワッシャーを入れると締りが良くなります。ロックワッシャーはホームセンターで売っていますので、適切なサイズの物をお客様でご用意下さい。



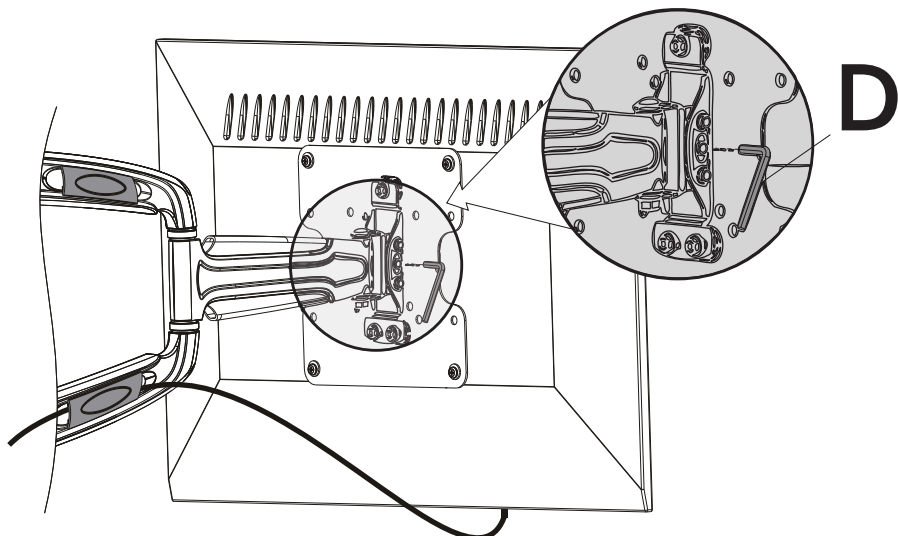
ロックワッシャー



下2箇所のナットを緩めて、水平を調整後しっかりと締めます。

ステップ 8

画面上下角度調節について



- 当金具はフリーロック機構です。最初に調節を行う事で画面の上下角度調節時にネジを緩めたりする必要がなくなります。
- 図を参考に六角レンチ [D] で各所の六角ネジの強さを調節します。
- 手で上下調節が出来てテレビが勝手に「おじぎ」をしない程度にバランスよく調節してください。

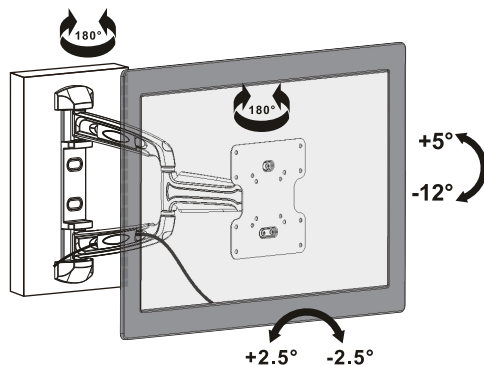


ご注意

※一部テレビで万一バランスが上手く取れない場合、お好みの角度にした上で、左右のネジをキツク締めてください。

ステップ 9

取付の終了と確認



ご注意

設置後の定期確認について

各取り付け部分や壁面部にガタつき等がないか、チェックしてください。緩みがあった場合は、しっかりと締め直しましょう。少しでも違和感があった場合、テレビを一旦取り外し、専門業者に相談してください。これらのチェック作業は3か月程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。